

令和2年10-12月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは8.3ポイントの上昇

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和2年10-12月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：令和2年11月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：1,041社（52.1%） ※詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象へ郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	362	65.8%
建設業	250	133	53.2%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	546	45.5%
合計	2,000	1,041	52.1%

2. 調査結果

（1）総合

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲35.4	▲62.1	▲62.6	▲54.3	▲56.8	▲54.8
売上DI	▲35.0	▲66.7	▲48.5	▲35.1	—	—
採算DI	▲35.1	▲58.4	▲45.8	▲35.7	—	—

総合の業況DIは、前期比8.3ポイント上昇の▲54.3となった。

経営状況では、売上DIは前期比13.4ポイント上昇の▲35.1、また、採算DIは同10.1ポイント上昇の▲35.7となった。

今後の業況DIを見ると、3か月後は現在比2.5ポイント低下の▲56.8、半年後は同0.5ポイント低下の▲54.8を見込んでいる。

（2）業種別特徴

<製造業>

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲39.4	▲64.0	▲74.4	▲61.4	▲60.2	▲52.6
売上DI	▲36.3	▲74.9	▲65.2	▲30.2	—	—
採算DI	▲36.4	▲64.0	▲62.2	▲32.5	—	—

製造業の今期の業況DIは、前期比13.0ポイント上昇の▲61.4となった。

経営状況では、売上DIは、前期比35.0ポイント上昇の▲30.2、採算DIは同29.7ポイント上昇の▲32.5となった。

「新型コロナウイルス感染防止を徹底し、感染者0人で通常営業しています。取引先の企業で、感染者が出ている関係で、負荷調整で、当社に発注が来るケースもあります。（売上増加。）」「5月～8月まで、前年比50%～70%で推移していたが、9月、10月は、前年並みに回復。海外輸出（主に中国・台湾・ベトナム）が好調なるも、国内需要は低迷。」「前期（令和2年7月～9月）が、大きく落ち込んでおり、それと比較すると多少引き合いの話は出て来たが、黒字化の目は立っていない。販路の拡大とコスト削減に注力している状況。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比1.2ポイント上昇の▲60.2、半年後は同8.8ポイント上昇の▲52.6を見込んでおり、「年内一杯はかなり厳しいが、年明けからの受注が増えており、景気の底は年内一杯だと思う。」「引き合い件数、受注量共に、増加してくると思われる。受注単価についても、徐々に正規の価格になってくると思う。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
一般機械	▲39.3	▲63.0	▲80.7	▲67.4	▲62.8	▲55.8
電気機械	▲32.4	▲53.2	▲69.9	▲52.4	▲54.3	▲45.6
輸送用機械	▲47.5	▲83.3	▲74.1	▲61.7	▲50.8	▲45.8
その他	▲39.7	▲62.3	▲73.5	▲62.8	▲66.4	▲57.9

中分類で見ると、一般機械は前期比13.3ポイント上昇の▲67.4、電気機械は同17.5ポイント上昇の▲52.4、輸送用機械は同12.4ポイント上昇の▲61.7となった。

今後の業況DIは、3か月後は一般機械が現在比4.6ポイント上昇の▲62.8、電気機械が同1.9ポイント低下の▲54.3、輸送用機械は同10.9ポイント上昇の▲50.8、半年後は一般機械が同11.6ポイント上昇の▲55.8、電気機械が同6.8ポイント上昇の▲45.6、輸送用機械は同15.9ポイント上昇の▲45.8を見込んでいる。

< 建設業 >

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	11.5	▲25.6	▲24.4	▲22.6	▲29.5	▲43.9
売上DI	▲4.1	▲52.1	▲28.2	▲14.4	—	—
採算DI	▲6.6	▲43.0	▲22.3	▲24.8	—	—

建設業の今期の業況DIは、前期比1.8ポイント上昇の▲22.6となった。

経営状況では、売上DIは前期比13.8ポイント上昇の▲14.4、採算DIは同2.5ポイント低下の▲24.8となった。

「コロナ禍の中、次年度以降の公共工事予算減が気になります。民間投資が冷え込み、経営の不安感は増大しています。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比6.9ポイント低下の▲29.5、半年後は同21.3ポイント低下の▲43.9を見込んでおり、「公共事業な主なので、4月以降の会計年度は減ると思われるため、悪化する。人材は、人気のないこの業界にも流れてきつつあるので、定着してほしいです。」「前事業年度末の受注残に支えられた好業績ですが、12月以降は、下降線になります。」といった声も聞かれた。

< 商業・サービス業 >

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
業況DI	▲43.6	▲68.7	▲64.2	▲57.4	▲61.4	▲59.0
売上DI	▲41.5	▲64.5	▲42.3	▲43.4	—	—
採算DI	▲41.0	▲58.1	▲40.7	▲40.6	—	—

商業・サービス業の業況DIは、前期比6.8ポイント上昇の▲57.4となった。

経営状況では、売上DIは前期比1.1ポイント低下の▲43.4、採算DIは同0.1ポイント上昇の▲40.6となった。「少しずつ消費者の収入減が始まっているのを感じる。扱い商品が生活に根差しているので、激減ではないが。」「コロナ禍により、業界全体が悪化している、現状は、GoToトラベルに市場を取られ、買物ムードではない。」「市のプレミアム商品券の利用が多いので、そちらの効果が得られた。」「コロナの影響で、夏場はアウトドア関連品が良く売れたが、それも一段落し、冬場は売上が減る恐れがある。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比4.0ポイント低下の▲61.4、半年後は同1.6ポイント低下の▲59.0を見込んでいる。「平日の人通りが非常に少ない。GoToトラベルなどやっているが、この商店街ではとても少ないようです。今後の見通しは、全く分からない。」「新型コロナの影響で、売上・客数ともに増えたが、今後の経済低迷が心配。かなり厳しくなる。」「政府のコロナ対策があり、資金繰りは何とかこなしていますが、雇用助成金の終わる来年以降の見通しは厳しいと見ています。」「客数が増えないと、状況は変わらない。新規顧客獲得のための宣伝広告が重要。SNSも積極的に活用していく方向。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
卸売業	▲44.0	▲68.5	▲66.7	▲64.4	▲73.3	▲63.6
小売業	▲56.8	▲75.0	▲64.6	▲56.5	▲59.7	▲60.4
飲食店	▲55.0	▲97.2	▲81.1	▲67.2	▲68.8	▲68.3
サービス業	▲17.3	▲44.5	▲52.9	▲48.9	▲51.9	▲48.9

業種別では、卸売業は前期比2.3ポイント上昇の▲64.4、小売業は同8.1ポイント上昇の▲56.5、飲食店は同13.9ポイント上昇の▲67.2、サービス業は同4.0ポイント上昇の▲48.9となった。

今後の業況DIは、3か月後では卸売業が現在比8.9ポイント低下の▲73.3、小売業は同3.2ポイント低下の▲59.7、飲食店は同1.6ポイント低下の▲68.8、サービス業は同3.0ポイント低下の▲51.9、半年後では卸売業が同0.8ポイント上昇の▲63.6、小売業は同3.9ポイント低下の▲60.4、飲食店は同1.1ポイント低下の▲68.3、サービス業は今期と同じ▲48.9を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		令和2年				令和3年	
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
中規模	業況DI	▲32.5	▲59.0	▲59.3	▲51.7	▲54.4	▲49.5
	売上DI	▲27.9	▲62.6	▲42.5	▲30.6	—	—
	採算DI	▲33.6	▲56.5	▲40.7	▲30.2	—	—
小規模	業況DI	▲38.6	▲65.7	▲66.6	▲57.6	▲59.8	▲61.4
	売上DI	▲42.9	▲71.3	▲55.4	▲40.6	—	—
	採算DI	▲36.9	▲60.5	▲51.8	▲42.5	—	—

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比7.6ポイント上昇の▲51.7、小規模企業は同9.0ポイント上昇の▲57.6となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比11.9ポイント上昇の▲30.6、採算DIが同10.5ポイント上昇の▲30.2、小規模企業は売上DIが同14.8ポイント上昇の▲40.6、採算DIが同9.3ポイント上昇の▲42.5となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3か月後が現在比2.7ポイント低下の▲54.4、半年後が同2.2ポイント上昇の▲49.5、小規模企業は3か月後が同2.2ポイント低下の▲59.8、半年後が同3.8ポイント低下の▲61.4を見込んでいる。

(4) 地区別特徴（業況DI）

	令和2年				令和3年	
	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 見込	4-6月期 見込
横浜	▲31.7	▲64.6	▲63.8	▲56.1	▲60.1	▲57.7
川崎	▲27.2	▲47.1	▲55.0	▲46.6	▲48.5	▲46.6
横須賀	▲46.0	▲56.1	▲50.0	▲56.9	▲61.6	▲58.6
平塚	▲33.7	▲63.2	▲63.1	▲67.3	▲67.0	▲62.0
藤沢	▲44.2	▲64.9	▲65.3	▲42.5	▲41.7	▲44.7
相模原	▲34.4	▲58.8	▲68.3	▲64.2	▲69.5	▲65.3
厚木	▲26.9	▲67.2	▲61.1	▲41.7	▲40.7	▲41.8
足柄上・西湘	▲48.1	▲74.8	▲75.5	▲61.2	▲66.0	▲62.1

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区（前期比7.7ポイント上昇の▲56.1）、川崎地区（同8.4ポイント上昇の▲46.6）、横須賀地区（同6.9ポイント低下の▲56.9）、平塚地区（同4.2ポイント低下の▲67.3）、藤沢地区（同22.8ポイント上昇の▲42.5）、相模原地区（同4.1ポイント上昇の▲64.2）、厚木地区（同19.4ポイント上昇の▲41.7）、足柄上・西湘地区（同14.3ポイント上昇の▲61.2）となり6地区で上昇し、2地区で低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区（現在比4.0ポイント低下の▲60.1）、川崎地区（同1.9ポイント低下の▲48.5）、横須賀地区（同4.7ポイント低下の▲61.6）、平塚地区（同0.3ポイント上昇の▲67.0）、藤沢地区（同0.8ポイント上昇の▲41.7）、相模原地区（同5.3ポイント低下の▲69.5）、厚木地区（同1.0ポイント上昇の▲40.7）、足柄上・西湘地区（同4.8ポイント低下の▲66.0）となり3地区で上昇し、5地区で低下すると見込んでいる。

半年後は、

横浜地区（現在比1.6ポイント低下の▲57.7）、川崎地区（今期と同じ▲46.6）、横須賀地区（同1.7ポイント低下の▲58.6）、平塚地区（同5.3ポイント上昇の▲62.0）、藤沢地区（同2.2ポイント低下の▲44.7）、相模原地区（同1.1ポイント低下の▲65.3）、厚木地区（同0.1ポイント低下の▲41.8）、足柄上・西湘地区（同0.9ポイント低下の▲62.1）となり1地区で上昇し、1地区で前期と同じ、6地区で低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

（公財）神奈川県産業振興センター（KIP）

（Kanagawa Industrial Promotion Center）

事業部経営総合相談課 小菅

TEL:045-633-5201 FAX:045-633-5194

URL <https://www.kipc.or.jp/> E-mail:soudan@kipc.or.jp

景気動向調査 (令和2年10月～12月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		362	133	104	238	67	137	546	1,041
業況判断	現在の業況	▲61.4	▲22.6	▲64.4	▲56.5	▲67.2	▲48.9	▲57.4	▲54.3
	3ヶ月後の業況	▲60.2	▲29.5	▲73.3	▲59.7	▲68.8	▲51.9	▲61.4	▲56.8
	半年後の業況	▲52.6	▲43.9	▲63.6	▲60.4	▲68.3	▲48.9	▲59.0	▲54.8
経営状況	売上	▲30.2	▲14.4	▲47.1	▲46.6	▲40.3	▲36.5	▲43.4	▲35.1
	採算	▲32.5	▲24.8	▲46.6	▲40.8	▲35.8	▲38.0	▲40.6	▲35.7
	引き合い/客数	▲25.9	▲28.6	▲34.0	▲43.2	▲41.8	▲25.5	▲36.8	▲32.0
	単価	▲17.5	▲13.5	▲31.4	▲32.8	▲19.4	▲13.9	▲26.1	▲21.5
	仕入価格	▲20.1	▲20.5	▲26.9	▲34.6	▲32.8	▲22.5	▲30.0	▲25.3
	資金繰り	▲35.9	▲5.3	▲40.4	▲30.7	▲31.3	▲26.5	▲31.6	▲29.7
	残業	▲34.9	▲25.6	▲24.5	▲32.3	▲44.6	▲33.6	▲32.6	▲32.5
	設備稼働	▲31.4	▲16.7	—	—	—	—	—	▲27.6
前期経営実績	売上水準	▲57.7	▲24.1	▲62.1	▲55.0	▲70.1	▲43.8	▲55.4	▲52.2
	利益水準	▲38.1	▲1.5	▲30.8	▲37.8	▲56.7	▲28.5	▲36.4	▲32.6
	在庫	14.5	1.6	16.7	3.8	0.0	▲4.1	4.0	7.4
	投資	▲20.7	▲10.0	▲14.9	▲16.3	▲33.3	▲8.7	▲16.3	▲17.1
	雇用状況	11.1	▲31.6	▲2.0	▲3.0	1.5	▲6.1	▲3.0	▲1.8

参考<前回調査> 景気動向調査

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		352	131	96	231	75	139	541	1,024
業況判断	現在の業況	▲74.4	▲24.4	▲66.7	▲64.6	▲81.1	▲52.9	▲64.2	▲62.6
	3ヶ月後の業況	▲77.9	▲36.2	▲73.7	▲70.4	▲87.8	▲33.6	▲63.9	▲65.3
	半年後の業況	▲67.0	▲40.9	▲69.1	▲72.5	▲87.7	0.0	▲56.8	▲58.3
経営状況	売上	▲65.2	▲28.2	▲55.2	▲48.5	▲53.3	▲14.4	▲42.3	▲48.5
	採算	▲62.2	▲22.3	▲53.1	▲47.4	▲54.7	▲12.1	▲40.7	▲45.8
	引き合い/客数	▲59.0	▲34.4	▲37.9	▲47.4	▲53.3	▲52.2	▲47.8	▲50.0
	単価	▲24.8	▲5.4	▲35.8	▲40.1	▲40.0	▲60.6	▲44.6	▲32.7
	仕入価格	▲21.2	▲17.8	▲22.3	▲30.6	▲45.9	▲60.0	▲38.7	▲30.0
	資金繰り	▲46.9	▲10.0	▲40.0	▲38.6	▲56.8	▲49.6	▲44.2	▲40.7
	残業	▲57.7	▲22.5	▲39.8	▲30.9	▲59.7	▲44.9	▲40.1	▲44.0
	設備稼働	▲58.5	▲18.5	—	—	—	—	—	▲48.0
前期経営実績	売上水準	▲69.3	▲29.0	▲70.5	▲62.3	▲92.0	▲35.5	▲61.0	▲59.8
	利益水準	▲43.5	▲9.9	▲45.3	▲46.1	▲78.7	▲31.2	▲46.7	▲40.8
	在庫	12.1	▲1.7	21.7	5.2	9.7	▲22.2	1.7	4.9
	投資	▲29.7	▲11.5	▲20.4	▲23.1	▲30.6	▲29.9	▲25.4	▲25.2
	雇用状況	19.5	▲30.2	5.4	▲1.8	15.1	▲32.4	▲6.1	▲0.3

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		192	170	69	64	310	236	571	470
業況判断	現在の業況	▲57.1	▲66.3	▲27.5	▲17.2	▲53.7	▲62.3	▲51.7	▲57.6
	3ヶ月後の業況	▲56.3	▲64.6	▲39.1	▲19.0	▲56.8	▲67.4	▲54.4	▲59.8
	半年後の業況	▲43.9	▲62.7	▲46.4	▲41.3	▲53.7	▲65.9	▲49.5	▲61.4
経営状況	売上	▲22.9	▲38.5	▲20.3	▲7.9	▲37.7	▲50.8	▲30.6	▲40.6
	採算	▲24.5	▲41.7	▲26.1	▲23.4	▲34.6	▲48.3	▲30.2	▲42.5
	引き合い/客数	▲19.9	▲32.7	▲31.9	▲25.0	▲33.9	▲40.8	▲28.9	▲35.7
	単価	▲13.0	▲22.5	▲23.2	▲3.1	▲20.6	▲33.3	▲18.4	▲25.3
	仕入価格	▲18.2	▲22.2	▲10.3	▲31.3	▲27.1	▲33.8	▲22.0	▲29.2
	資金繰り	▲28.6	▲44.3	▲7.2	▲3.1	▲28.2	▲36.0	▲25.8	▲34.5
	残業	▲27.6	▲43.2	▲29.0	▲21.9	▲33.1	▲32.0	▲30.7	▲34.7
	設備稼働	▲23.6	▲40.2	▲18.2	▲15.0	—	—	▲22.2	▲33.6
前期経営実績	売上水準	▲54.2	▲61.8	▲30.4	▲17.2	▲48.1	▲65.1	▲48.0	▲57.4
	利益水準	▲30.7	▲46.5	5.8	▲9.4	▲29.0	▲46.2	▲25.4	▲41.3
	在庫	18.9	9.3	▲1.5	5.3	2.0	6.5	7.4	7.3
	投資	▲20.0	▲21.6	▲17.6	▲1.6	▲10.7	▲23.7	▲14.7	▲19.9
	雇用状況	16.1	5.3	▲29.0	▲34.4	▲4.0	▲1.8	▲0.2	▲3.7

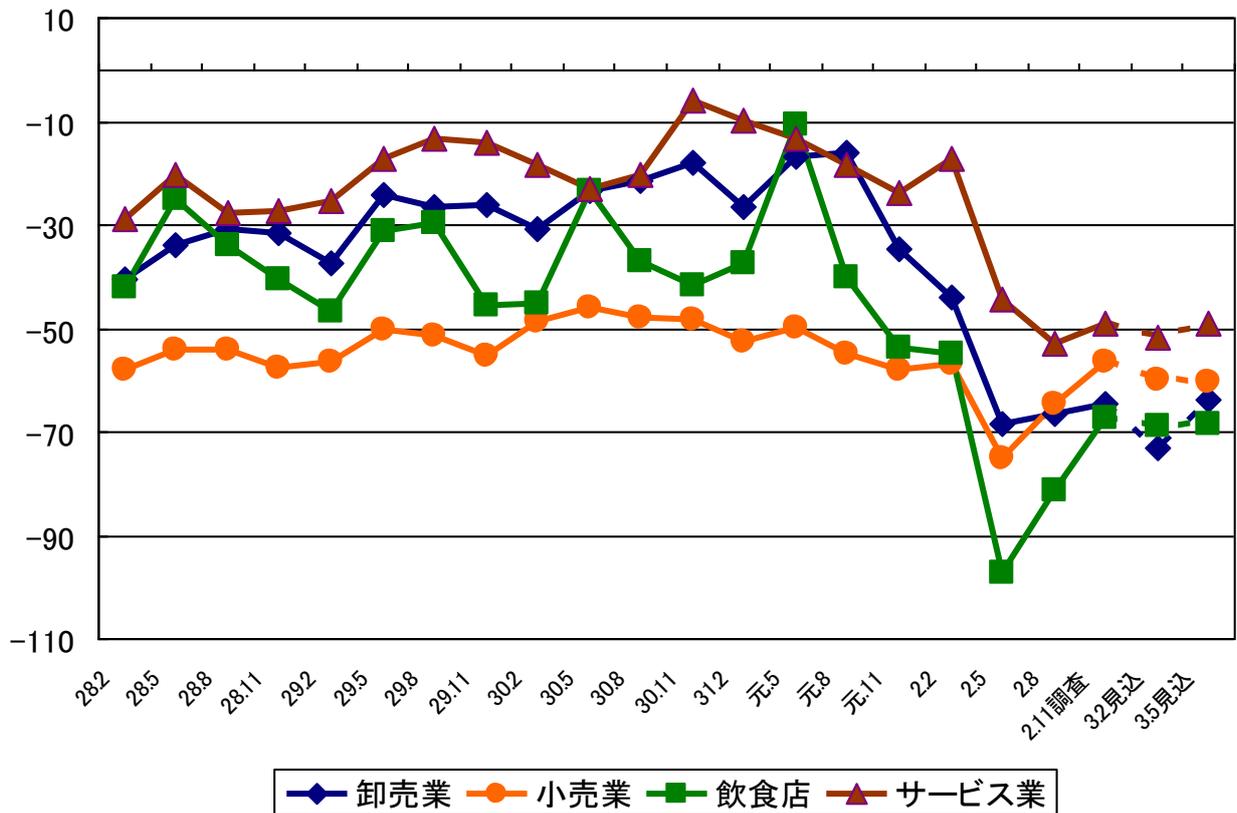
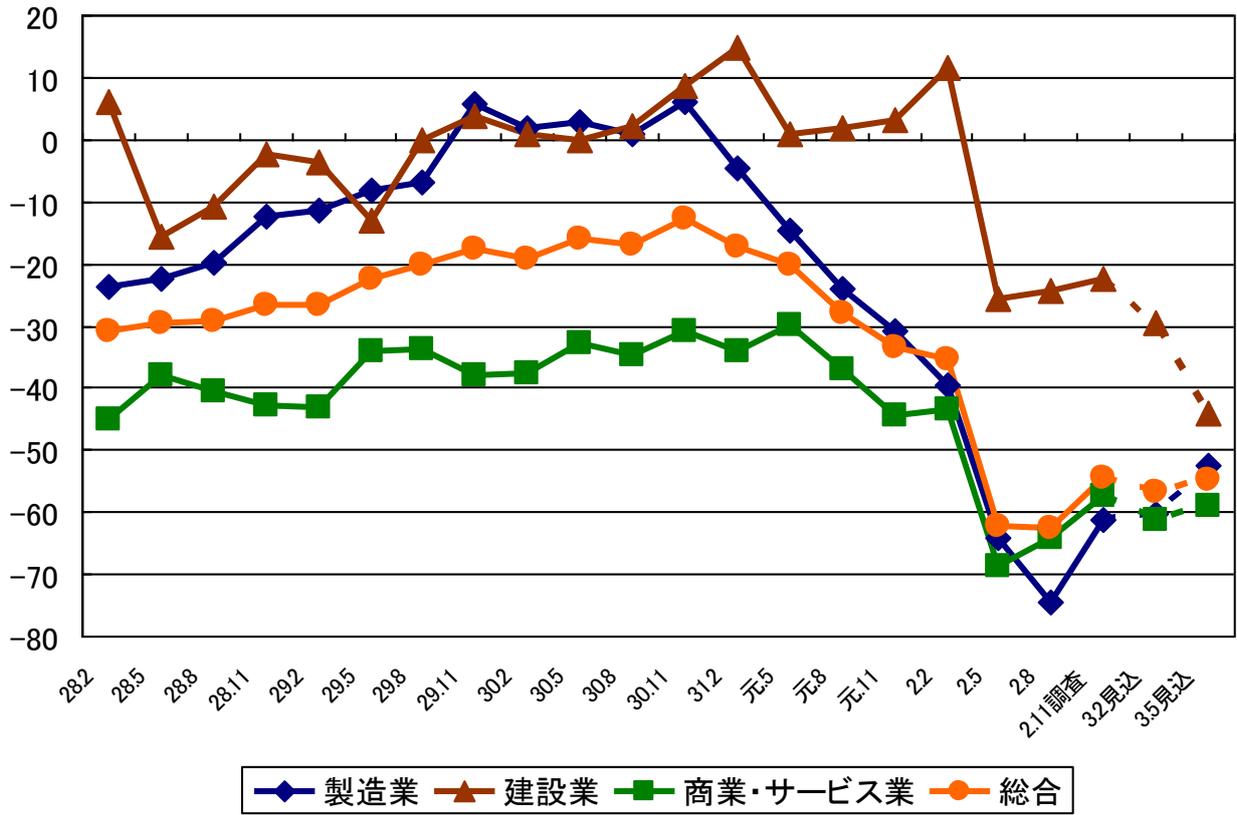
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		286	134	102	104	106	96	115	98	1,041
業況判断	現在の業況	▲56.1	▲46.6	▲56.9	▲67.3	▲42.5	▲64.2	▲41.7	▲61.2	▲54.3
	3ヶ月後の業況	▲60.1	▲48.5	▲61.6	▲67.0	▲41.7	▲69.5	▲40.7	▲66.0	▲56.8
	半年後の業況	▲57.7	▲46.6	▲58.6	▲62.0	▲44.7	▲65.3	▲41.8	▲62.1	▲54.8
経営状況	売上	▲40.0	▲28.4	▲31.4	▲38.5	▲34.0	▲47.9	▲27.2	▲28.6	▲35.1
	採算	▲38.7	▲26.1	▲32.4	▲42.3	▲32.4	▲53.1	▲27.8	▲32.7	▲35.7
	引き合い/客数	▲40.2	▲26.1	▲25.7	▲41.3	▲27.9	▲44.8	▲16.7	▲21.9	▲32.0
	単価	▲20.7	▲22.4	▲22.5	▲32.0	▲21.9	▲21.9	▲16.5	▲15.3	▲21.5
	仕入価格	▲26.2	▲20.5	▲24.2	▲24.0	▲31.4	▲22.1	▲19.3	▲35.1	▲25.3
	資金繰り	▲26.5	▲25.4	▲31.4	▲38.5	▲30.5	▲43.8	▲19.1	▲31.6	▲29.7
	残業	▲36.7	▲33.8	▲26.7	▲27.2	▲25.7	▲43.2	▲27.2	▲33.7	▲32.5
	設備稼働	▲31.1	▲28.4	▲12.5	▲17.4	▲25.5	▲39.6	▲25.0	▲31.7	▲27.6
前期経営実績	売上水準	▲54.2	▲47.0	▲50.0	▲60.6	▲42.5	▲56.8	▲40.9	▲66.3	▲52.2
	利益水準	▲31.5	▲24.6	▲29.4	▲46.2	▲27.4	▲38.5	▲20.0	▲50.0	▲32.6
	在庫	13.1	5.4	3.1	5.0	1.9	15.8	0.9	6.5	7.4
	投資	▲15.8	▲14.5	▲6.1	▲22.3	▲22.6	▲26.3	▲13.4	▲18.8	▲17.1
	雇用状況	0.0	▲8.2	▲7.1	▲2.9	▲1.9	10.6	▲5.3	1.0	▲1.8

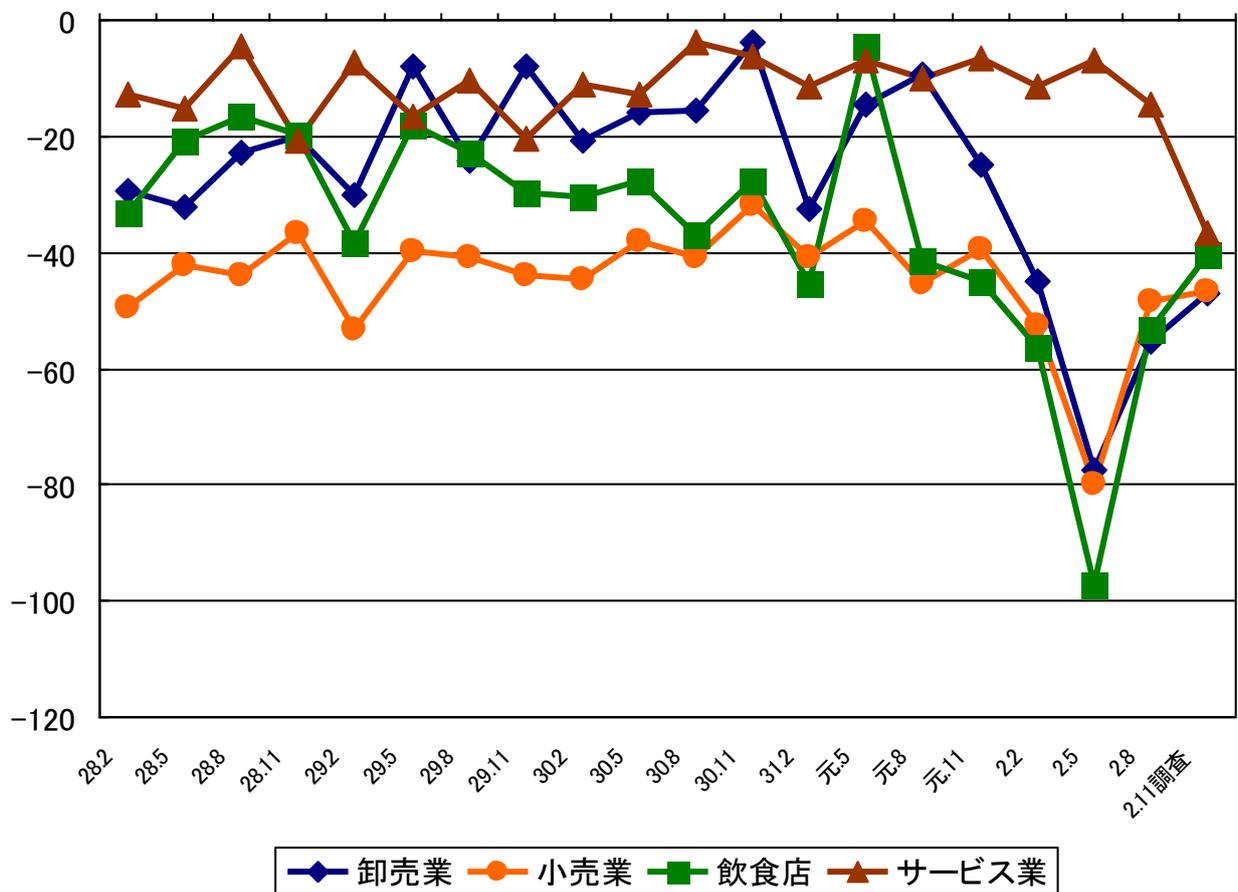
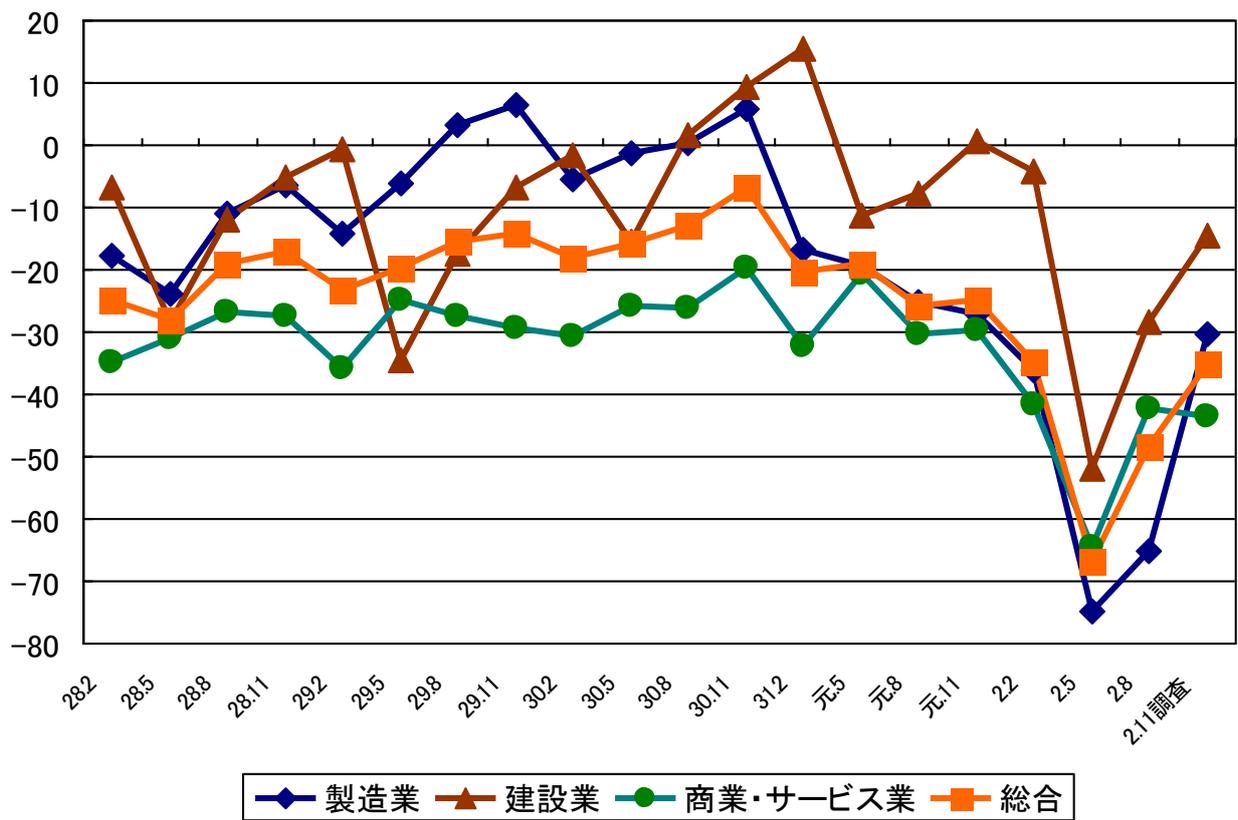
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		89	82	60	131	362
業況判断	現在の業況	▲67.4	▲52.4	▲61.7	▲62.8	▲61.4
	3ヶ月後の業況	▲62.8	▲54.3	▲50.8	▲66.4	▲60.2
	半年後の業況	▲55.8	▲45.6	▲45.8	▲57.9	▲52.6
経営状況	売上	▲34.8	▲22.0	▲15.0	▲39.2	▲30.2
	採算	▲43.8	▲29.3	▲28.8	▲28.5	▲32.5
	引き合い/客数	▲25.8	▲28.0	▲13.8	▲30.0	▲25.9
	単価	▲18.0	▲9.8	▲18.6	▲21.4	▲17.5
	仕入価格	▲20.2	▲22.2	▲13.8	▲21.4	▲20.1
	資金繰り	▲34.8	▲29.3	▲30.5	▲43.4	▲35.9
	残業	▲39.3	▲25.6	▲30.5	▲39.7	▲34.9
	設備稼働	▲38.6	▲31.7	▲5.1	▲38.2	▲31.4
前期経営実績	売上水準	▲65.2	▲45.1	▲58.3	▲60.3	▲57.7
	利益水準	▲46.1	▲26.8	▲38.3	▲39.7	▲38.1
	在庫	7.2	16.0	13.8	18.6	14.5
	投資	▲26.4	▲13.6	▲15.3	▲23.8	▲20.7
	雇用状況	9.0	12.3	18.3	8.4	11.1

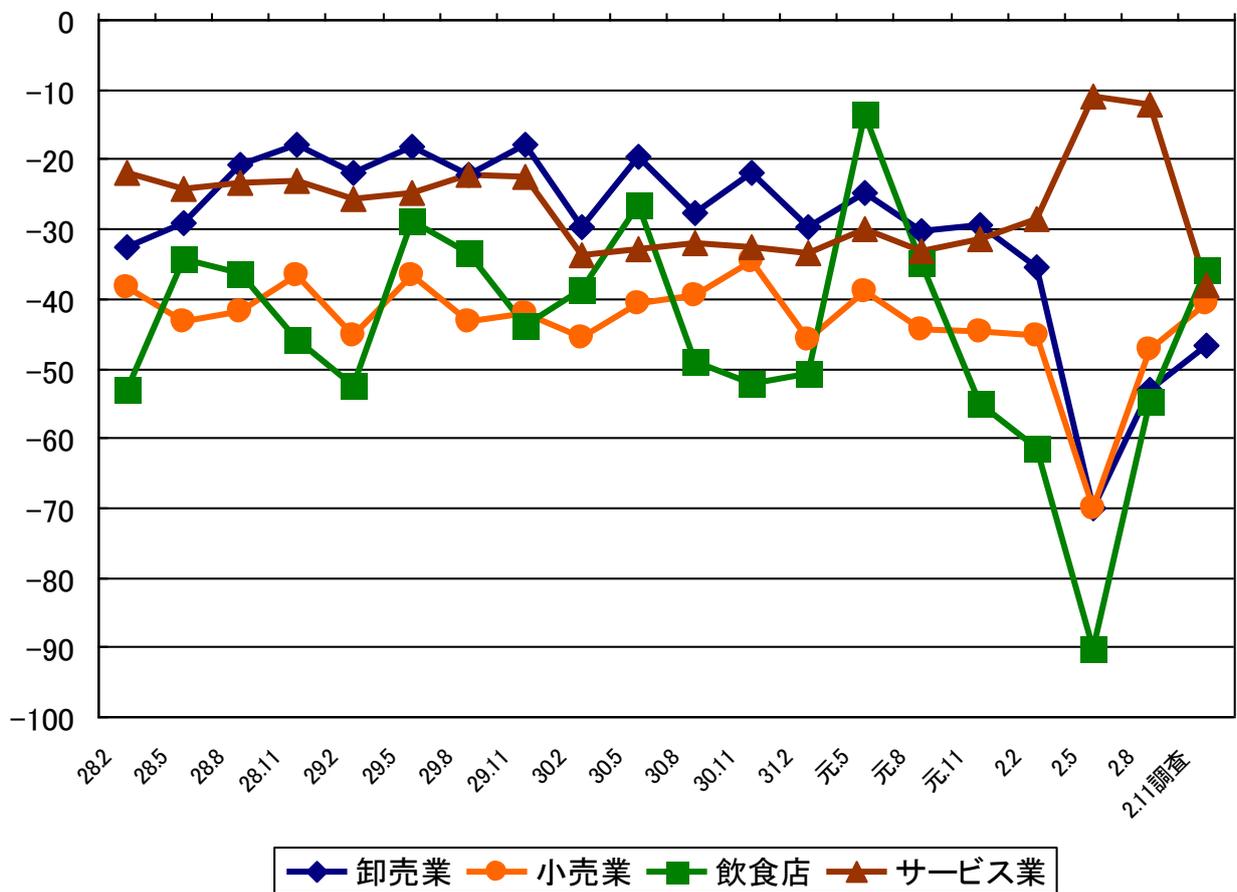
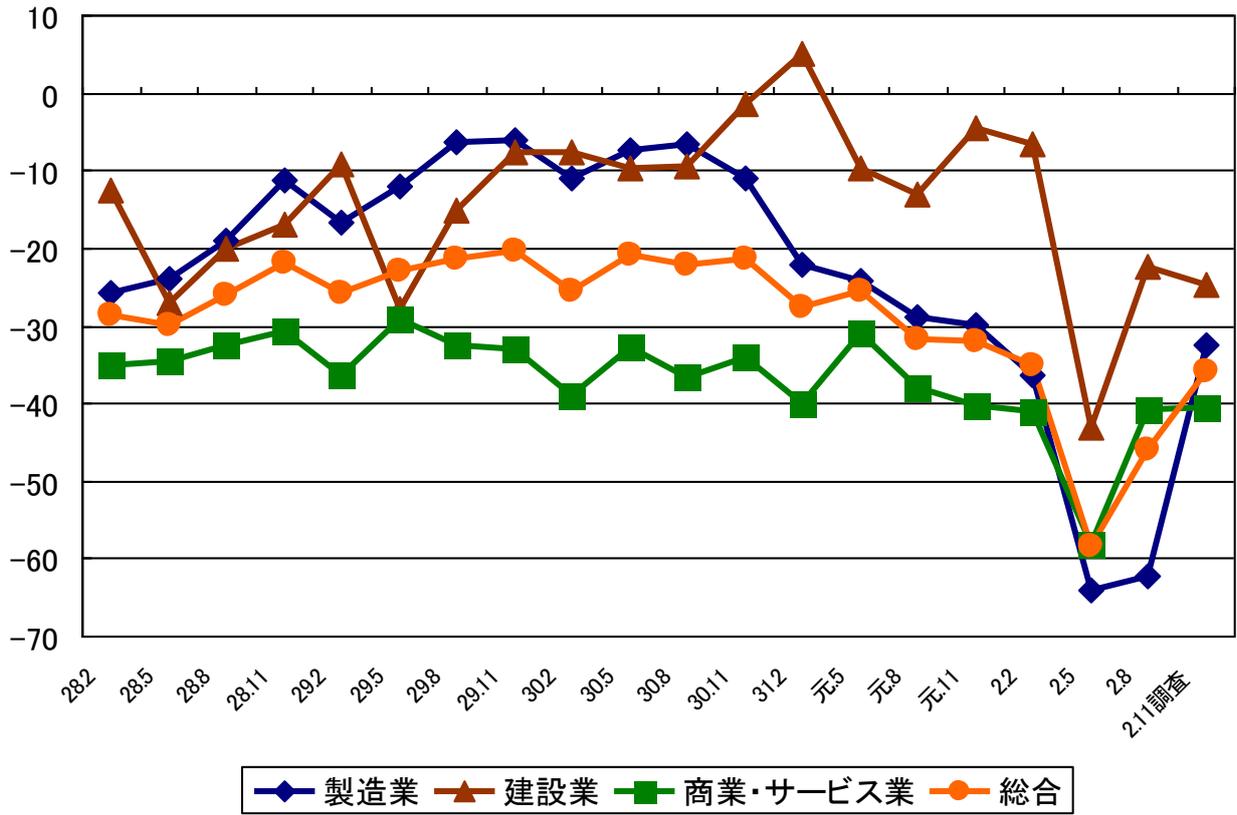
業況DIの推移



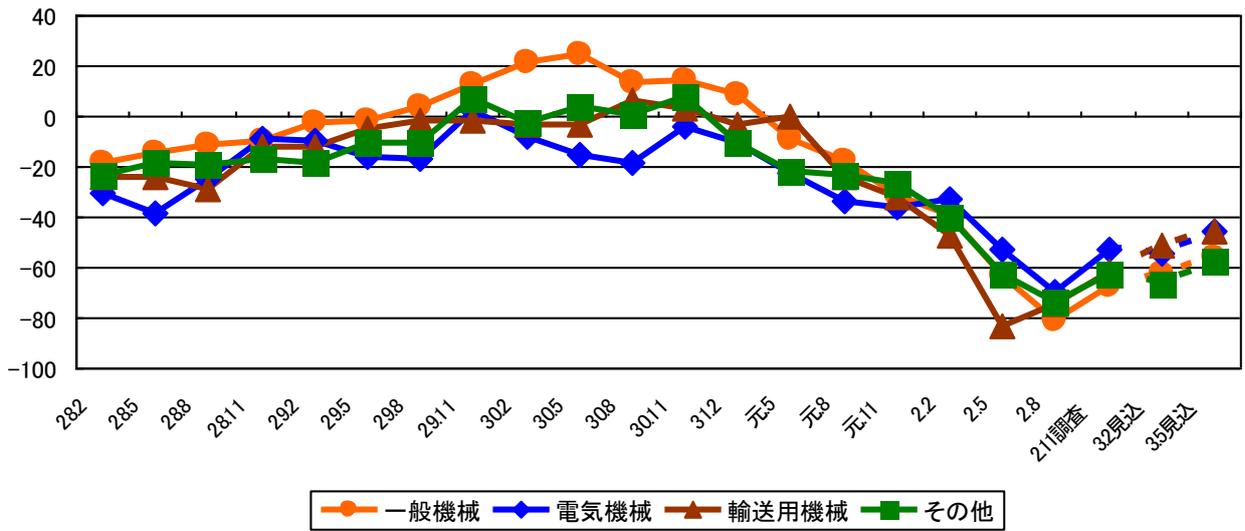
売上DIの推移



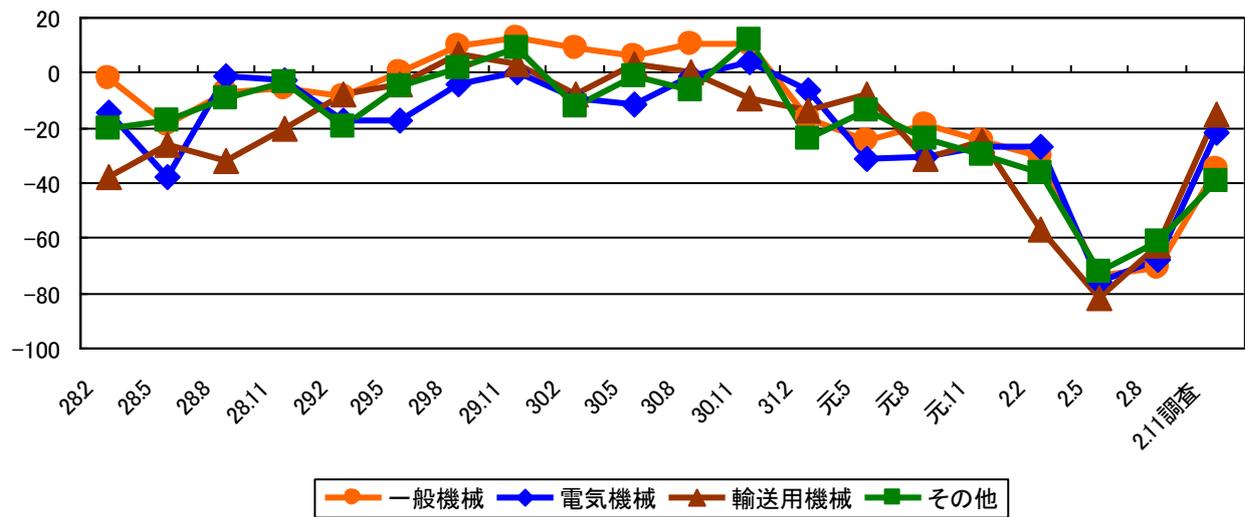
採算DIの推移



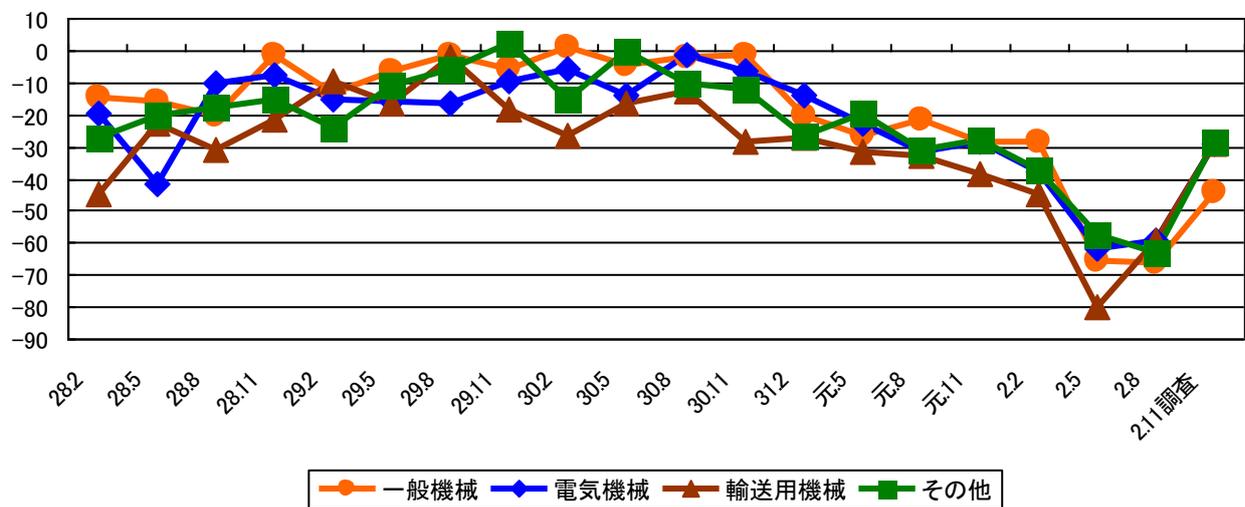
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



調査回答企業からのコメント(一部)

<製造業>

「一時の低迷は脱した感あり。今月に入って、引き合い、受注増。来年1月くらいまでは続きそうな気配だが、気が抜けない。」
「コロナの影響も以前よりは落ち着いてきました。来年はオリンピック、パラリンピックもあり、春先から景気が回復すると思います。ただし、これからの冬に若干不安も感じています。」
「12月までは、受注残の工事量で、売上自体は変わらないが、7~9月までの受注量が減少してきたので、年明け以降の売上、損益が厳しくなってくるものと思われる。」
「一番のお得意先様からの受注は増えているものの、コロナの影響で輸出がストップしている関係で、毎月あった受注先からの注文はなくなった。引き合いは増えている様に思えるが、受注にはつながりにくい。」
「輸出関係部品が少しずつ回復してきていますが、前年と比べてもまだまだ受注は減少したままの状態です。設備投資をすれば、売上を増加する事は分かっていますが、現状では設備投資出来る余裕がありません。」
「10月までは何とか利益が出ている状況であったが、11月以降の見通しが判らない。急に注文の入りが悪くなり、稼働状況も落としている。売上が半分にはならないので、持続化給付金ももらえない。持続化給付金を売上が7割位でも支給してほしい。」
「コロナの影響で、イベントが中止になり、チラシ・プログラム・案内状等の印刷物が超激減。今後このような状況が続くようであれば、経営にも支障をきたしかねない。」
「見積もりは多いが、受注量が減っている。今後も不安が続く。」
「北米国の販売が、コロナの為好調。今後、半年位は、良い状況が続く様子。小物、家廻りの園芸機器（小型エンジン機械）の部品製造なので、この業種は好調のようです。」
「新型コロナウイルスの影響で、お客様もエンドユーザーとの仕様打ち合わせ等できず、受注が出来ないとの事。ほんの少し注文が戻ってきた感じはあるが、まだまだです。」
「徐々に回復の見通しはあるものの、不透明感はある。」
「上半期4月~7月は、売上が大幅ダウンしたが、8月~10月で回復をしました。11月から年内は、受注ありますが、年明けの様子ははっきりしない状態です。」
「コロナウイルスの影響で、4月から減速していたが、10月にかけて徐々に持ち直している。ただし、ハイシーズンは終わったので、売上高は、あまり期待できない。」

<建設業>

「令和3年度が、税不足により、経済縮小になって行くのが心配です。」
「コロナの影響で、官公庁の仕事が減ってくると思う。来年から数年間は厳しい状況が続くと思われます。」
「来年4月以降どうなるか予想がつかない。民間工事は、コロナで受注が減少する?。」
「今年度は、公共事業が例年に比べて多いが、来年にコロナウイルス対策費を使ったので、一気に減る可能性がかなり高い。」
「少しずつリフォームなどが増えてきました。持続化給付金で資金繰りも大変助かっています。」
「コロナの影響で、官公庁の発注の件数が減少する可能性があると思われる。売上高等に影響あり。」
「コロナの影響で、今後の見通しがつかず、終息が遅れると非常事態になりかねない。雇用助成金の延期を2021年3月末まで切に望む。」
「雇用が不足しているが、売上が上がらなければ、仕事にならない。色々なメーカーから仕事をもらうようにシフトしている。工夫するしかない。」
「コロナウイルスの影響により、民間工事が減少し、公共工事への依存度が高まり、競争が激化する傾向が予測され、来年に向けても、経営状況は厳しい見込み。」
「公共工事の受注が多くあり、順調です。」
「公共工事の入札も受注することが難しい。民間においてもコロナの影響で、引き合いも減少しているため、手持受注工事を大事に見つめ直し考えている。」

<卸売業>

「車の潤滑油等、メンテナンス商品を取り扱っていますが、コロナ禍で、人の移動が車になっているためか、思った程の落ち込みはない。」
「外国人向け、土産製造卸業。今年度売上無し。」
「コロナ対策関連部品の受注が多い。」
「オリンピック開催の有無が、弊社売上に直結する。」
「コロナによる影響。最悪から少しは良くなっている（製造業）。非鉄金属製品受注アップ（電子部品）。」
「単価の値下げ、手術の延期等、医療事情の変化により、売上減少。コロナ禍による。」
「今後の見通しは不透明です。特に、令和3年4月以降の官庁については、税収減が見込まれており、リスク大です。」
「高額商品は、先行き不調。一方、低額商品は伸びている。先行き不明。」
「イベントが無いので3月から在庫が減らない。」
「弊社の業績不調の要因は、コロナの影響も大きいですが、それだけでなく、回転資金不足で営業ピーアール活動の縮小などもあります。来年からはウィズコロナの環境変化に適した経営を模索しながら、苦境を打開するよう頑張っています。」

調査回答企業からのコメント(一部)

<小売業>

「コロナによる内食の増加で、野菜が好調ですが、天候不順で果物が不作になり、高値となってしまったため、動きが悪いです。」
「箱根登山電車開通、富士屋ホテルの再開と、状況は戻ったのですが、GoToキャンペーンが不安定で、特に売上が良くなったようには思えません。コロナの影響は大きすぎます。」
「コロナのためか、家ででの消費が多い。そのため、生菓子の売上が上がっている。焼き菓子は、多少売り上げが落ちている。いつまで続くか?。」
「新型コロナ騒ぎにより、外出を控え、ガーデニングや家庭菜園、お墓参り等、身近で時間を費やす人が増えた事により、売上が増加していると思われます。」
「販売方法をコロナ禍に応じたスタイルにする必要があり、そのための費用が増える。また集客もこれまでとは手法を変えなくてはならず、どうなるかはまだよく分からない。」
「川崎市の中小企業経済対策による、地域振興券を使用されるお客様が増加している。大手では使用できない為と思われる。一方、資金化に時間がかかる為、資金繰りに影響もある。」
「コロナ感染予防商品の予想外の引き合いで、売上に寄与した結果、売上は伸びたが、今後、企業の仕事改革で文具等の需要低迷が心配である。」
「現状は、コロナ以前の状況に戻りつつあるが、今後の状況は、見通しが立たない。」
「御中元、御歳暮が忙しいのですが、今年は御中元もあまり良くありませんでした。御歳暮もどうなるか例年通りとはいかないと思います。」
「来店客数の減少による売上減少分を、ネット通販でカバーしているが、先行きが全く見えず、不安である。」
「外販が一時期からは回復傾向にあるも、11月～12月歳末の動向に、全く期待が持てない状況。店頭等、個人需要がどの程度まで持ち直すのか?。不透明。」
「コロナ禍、世の中の需要に適した製品を作り、業績をUPする。」
「コロナの影響で、展示会などの集客イベントが出来ない為、不調。」
「生産農家の人手不足(外国人労働者)のためか、市場の入荷が極めて少なく、店頭の品揃えが悪いので、年末の売上が心配。」

<飲食店>

「行政等による観光地及び、飲食業支援又、感染防止緩和により、今の所、コロナ流行以前に戻ってきておりますが、ワクチンが出来るまでは不安。」
「コロナの影響で、客足が激減。このまま営業を続けられるか思案中です。ただひとつ、お客さんから、がんばりなさいよと励まされるのが喜びです。これは、天災だと思って、しのぐしかありません。」
「客数が減っている。5人以上の団体が少なく、前年と比べて売上が伸びない。」
「9月の4連休が少し上向きになり、少し良くなってくるかと思ったが、14号の台風位から客足が激減し、今後の見通しが付かない状況。コロナの終息にかかっている。」
「毎年、夏季はあまり良くありませんが、今年はコロナウイルスの影響もあり、更に悪化してります。とはいえ、4～5月に比べれば、客足も戻ってきてつつあるかな。。。というところです。」
「新型コロナによって、4月が最悪でしたが、徐々に良くなり、6月～10月まではほぼ平年並みに戻ってきました。」
「GoToトラベル、イートの影響で好調だが、今後、コロナの状況が不安。」
「愛川町では、10月15日から景気モリアゲ券を町民1人あたり3000円分支給され、10月15日以降はその効果により7月～9月より売上増になっています。モリアゲ券の終了後は、大変厳しいと思っています。」

<サービス業>

「コロナの影響が未だ続いている。週末少しだけ良くなってきた。」
「箱根観光客減で、仕事が無かったが、現在、客足が戻って来ているので、少し期待しています。(ホテル、旅館の車の修理が無い。)」
「新型コロナの不況により、外出抑制等で、車の利用を制限されている方も多く、タイヤ等の消耗部品やエンジンオイル交換等も少なくなっている。車輛の代替需要も盛り上がりを欠いており、低調です。」
「通勤者減などの社会生活の変化は、コロナ終息後も続くと思ひ、それに対応していくしか無いと考えます。」
「新規取引先がある一方、飲食店の取引先で契約終了がある。今後もその動きが加速する可能性がある。」
「前期は、コロナの影響で契約開始時期の遅れや、規模の縮小が出ていましたが、今期になり少し回復してきた感があります。」
「人々のライフスタイルの変化が起きてしまった。テレワーク等、服を着ての勤務が減っている。人々が出かけて生活を楽しむ機会をもっと増やして欲しい。」
「コロナで売上が減り、スタッフを増やす事が出来ない。先行きも分からない為、新たな募集が出来ず、育成する事が出来ないの、今後不足するだろうと不安。」
「測量技術者の人口が減少傾向にあり、人気の無い職業と思われるのか、従業員確保が難しく、受注量を減らさないといけなくなっている。」
「新築住宅は変わらず、リフォームが減少。」